

「技報」の発刊に寄せて

名古屋大学全学技術センターは、平成 21 年 4 月より 4 技術支援室、6 技術系の組織に改組されました。そして平成 28 年 4 月より名古屋大学設備・共用支援室が設置されました。

工学研究科・工学部技術部は、工学研究科・工学部からの要請に基づき、全学技術センター工学系技術支援室から派遣・配置された技術職員の組織「工学研究科・工学部技術部」として、主たる業務先である工学研究科・工学部のみならず関連研究施設・センター、全学の教職員各位のご理解と連携により教育および研究に対する技術的支援を行っています。

技術部では、機械加工、回路製作や学内外ものづくり講座、サーバ管理や Web 管理・メンテナンス、情報セキュリティのインフラ整備、労働安全衛生法、放射線に係る法律などに基づく管理、環境測定、安全衛生巡視や安全教育などインフラ整備、試料の創製や分析、観察や分析機器の性能維持管理などの日常業務を行ってきました。これを支えてきた熟練した技術、経験の豊富な技術職員がやがて定年を迎えます。各技術系がそれぞれ計画的に若手職員の指導体制や新人研修、OJT など再雇用制度も有効に活用して研究と教育を支援する技術レベルの維持、向上を持続的に努める所存です。関係各位のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この「技報」は、工学研究科・工学部技術部の平成 28 年度における諸活動をまとめたものであり、名古屋大学や部局内外の教職員並びに関係する皆様に技術部の活動内容を発信するものです。是非とも、お目を通していただき、ご意見などございましたら、技術部までご連絡いただければ幸いです。

最後に、本誌の発行にあたって、多大なご尽力とご支援を頂きました工学研究科長・副研究科長をはじめ、教員、事務職員、その他の関係各位には心よりお礼申し上げます。

平成 28 年 2 月

工学研究科・工学部 技術部
(全学技術センター工学系技術支援室)
室長 鷺見高雄